

令和5年度 交通局の予算概要

目 次

I. 令和5年度当初予算（案）の概要について……………	1
II. 令和5年度主要事業について……………	8
III. 参考資料……………	21

令和5年度当初予算（案）（自動車事業会計）

1. 予定業務量
2. 収支計画
3. 予定貸借対照表

令和5年度当初予算（案）（高速鉄道事業会計）

1. 予定業務量
2. 収支計画（全線）
3. 予定貸借対照表

令和5年度当初予算（案）の 概要について

令和5年度予算編成方針

本市の交通事業は、市民の日常生活や経済活動に必要な生活基盤としての役割を担い、その整備・充実に努めてきた。しかしながら、少子高齢化の進展、人口減少傾向の継続、施設の老朽化などに加え、地震や集中豪雨等の大規模災害の頻発、新たな感染症の拡大、ICT等の技術革新の進展など、公共交通を取り巻く環境が大きく変化しており、その中においても、市民に必要とされる公共交通であり続けるために、「市民の足」としての役割を積極的に果たすなど、神戸のひとの暮らしとまちの発展を支えていくことが求められている。

そのため、公営交通としての役割と企業としての経済性の両立を果たすべく、厳しい経営環境、財政状況の中において「市民の足」を持続的に提供していくため、公営交通を将来にわたり安定的に運営していけるよう、今後の事業環境や課題を踏まえた経営方針や事業戦略、財政計画を定めた「神戸市営交通事業 経営計画 2025」を令和3年度に策定し、経営改善に取り組んでいるところである。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式の浸透により、市バス・地下鉄の利用者の減少は一定定着してきており、新型コロナウイルス感染症の発生以前と比べて、大幅な減収となっている。加えて、昨今の著しい原油価格の高騰の影響もあり、今後も極めて厳しい経営状況が続くものと見込んでいる。

令和5年度予算においても、引き続き、経営計画の基本的な考え方である「安全・安心の確保」、「快適なサービスの提供」という公共交通機関としての使命を果たし、公営交通事業に求められる「市民の足の確保」を通じて、神戸市営だからこそその意義・役割である「神戸のまちづくりに貢献」するため、経営計画で掲げた施策を着実に遂行するとともに、「安定的な経営基盤を確立」すべく、さらなる経営改善に取り組む。

また、職員一人ひとりが「高いコンプライアンス意識」と「チャレンジ精神」を持ちながら、未来に向けて新たに挑戦していくことで、「神戸の市民生活やまちの発展に貢献」していく。

新型コロナウイルス感染拡大による経営への影響

1. R4年度減収見込み額（対R1年度決算比）

自動車事業会計 約13億円（乗車人員：約△3万人/日 △17%）

高速鉄道事業会計 約12億円（乗車人員：約△3万人/日 △10%）

《参考：R4年 各月の乗車人員および年度比較》

区分	市バス		地下鉄	
	人/日	対R1年比	人/日	対R1年比
1月	132,924	▲22.59%	256,024	▲13.87%
2月	131,690	▲24.14%	247,665	▲18.08%
3月	139,611	▲17.87%	259,293	▲14.21%
4月	149,159	▲19.96%	281,604	▲11.61%
5月	151,399	▲18.52%	291,589	▲9.82%
6月	158,300	▲16.45%	296,156	▲9.12%
7月	153,715	▲19.78%	286,881	▲11.64%
8月	143,799	▲18.84%	268,312	▲13.21%
9月	148,849	▲19.48%	277,653	▲13.68%
10月	154,810	▲17.98%	293,312	▲8.34%
11月	155,297	▲17.63%	298,210	▲8.23%
12月	150,735	▲17.44%	290,924	▲8.85%
通年	147,595	▲19.15%	279,122	▲11.62%

※R4年12月は速報値

※地下鉄においてはR4年は北神線を含む

2. R5年度減収見込み額（対R1年度決算比）

自動車事業会計 約13億円（R5年度乗車料収入予算 約82億円）

（乗車人員：約△3万人/日 △17%）

高速鉄道事業会計 約12億円（R5年度乗車料収入予算 約174億円）

（乗車人員：約△3万人/日 △10%）

⇒それぞれ下記の減収率を見込む

※自動車事業－通勤定期：△13%・通学定期：△15%・定期外：△20%

※高速鉄道事業－通勤定期：△9%・通学定期：±0%・定期外：△15%

北神市営化の影響除き

－通勤定期：△12%・通学定期：△4%・定期外：△18%

○自動車事業会計における令和5年度予算の収支状況

1. 乗車人員の状況

【1日あたりの乗客数推移】

	R01決算	R02決算	R03決算	R04予算		R05予算	R5-R4
定期	64,114	53,395	54,013	55,064	→	55,438	374
定期外	60,317	43,364	46,232	53,874	→	49,288	△ 4,586
敬老パス	36,329	27,780	28,196	31,542	→	30,364	△ 1,178
福祉パス	19,434	14,353	13,281	15,142	→	13,657	△ 1,485
合計	180,194	138,892	141,722	155,622		148,747	△ 6,875

2. 収支の状況

(税抜、単位：百万円)

	R4年度	R5年度	差額	主な要因
収入	10,548	10,054	△ 494	
営業収入	9,157	8,699	△ 458	
乗車料収入	8,704	8,247	△ 457	新型コロナ影響を踏まえた収入見込み
営業外収入	1,390	1,355	△ 35	
一般会計補助金	1,310	1,273	△ 37	
特別利益	0	0	0	
支出	11,450	11,090	△ 360	
営業費用	11,121	10,724	△ 397	
人件費	3,733	3,107	△ 626	給与体系見直し・時間外勤務削減
燃料費	855	851	△ 4	
営業所委託料	4,676	4,775	99	
減価償却費	433	524	91	
営業外費用	238	275	37	
予備費	91	91	0	
営業損益	△ 1,964	△ 2,025	△ 61	
経常損益	△ 902	△ 1,036	△ 134	
純損益	△ 902	△ 1,036	△ 134	
累積資金過不足額	△ 1,717	△ 1,718	△ 1	
資金不足比率	18.8%	19.7%	0.9%	

※資金手当として、

- ・高速鉄道事業会計からの出資（315百万円）
- ・新型コロナによる減収見込みへの補填として、特別減収対策企業債発行（1,008百万円）

≪特別減収対策企業債≫

(1)概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組みに伴う利用者数の減少等により公営企業において大幅な収入減が発生していることから、交通・病院など住民生活に不可欠な公営企業の資金繰りを円滑にするため、総務省により令和2年度から新設された制度。

(2)諸条件

①対象者

新型コロナウイルス感染症により資金不足額が発生又は拡大する公営企業であること

②発行金額

当該年度の資金不足額から平成30年度又は令和元年度の資金不足額のうち小さい額を引いた額

③その他

償還年限は原則15年以内

発行済み特別減収対策企業債の償還利子の1/2の額を一般会計から繰り出し（基準内繰り出し）

○高速鉄道事業会計における令和5年度予算の収支状況

1. 乗車人員の状況

【1日あたりの乗客数推移】

(全線)	R01決算	R02決算	R03決算	R04予算	R05予算	R5-R4
定期	169,831	148,877	154,501	153,812 →	159,516	5,704
定期外	103,242	71,715	79,783	91,177 →	91,305	128
敬老バス	21,110	14,227	16,230	17,361 →	18,776	1,415
福祉バス	17,736	12,017	11,183	12,752 →	12,107	△ 645
合計	311,919	246,836	261,697	275,102	281,704	6,602

【1日あたりの乗客数推移】

(山)	R01決算	R02決算	R03決算	R04予算	R05予算	R5-R4	(海)	R01決算	R02決算	R03決算	R04予算	R05予算	R5-R4
定期	142,633	123,380	129,184	128,880 →	134,176	5,296	定期	27,198	25,497	25,316	24,932 →	25,340	408
定期外	85,453	59,564	66,360	75,476 →	75,608	132	定期外	17,789	12,151	13,423	15,701 →	15,697	△ 4
敬老バス	18,090	12,164	13,918	14,929 →	16,161	1,232	敬老バス	3,020	2,063	2,313	2,432 →	2,615	183
福祉バス	14,391	9,756	9,059	10,381 →	9,837	△ 544	福祉バス	3,345	2,261	2,124	2,371 →	2,270	△ 101
合計	260,567	204,864	218,521	229,666	235,782	6,116	合計	51,352	41,972	43,176	45,436	45,922	486

2. 収支の状況 (全線)

(税抜、単位：百万円)

	R4年度	R5年度	差額	主な要因
収入	22,464	24,119	1,655	
営業収入	19,047	19,715	668	
乗車料収入	17,138	17,424	286	新型コロナ影響を踏まえた収入見込み
営業外収入	3,417	4,404	987	特例債元金補助金の増
支出	26,662	29,512	2,850	
営業費用	24,504	27,294	2,790	
人件費	6,163	5,992	△ 171	
動力費	765	1,171	406	燃料調整単価の上昇
固定資産除却費	729	1,516	787	除却対象資産の増
減価償却費	11,290	12,295	1,005	新型車両購入・ホームドア設置による増
営業外費用	2,067	2,127	60	
予備費	91	91	0	
営業損益	△ 5,457	△ 7,579	△ 2,122	
経常損益	△ 4,107	△ 5,302	△ 1,195	
純損益	△ 4,198	△ 5,393	△ 1,195	
累積資金過不足額	2,270	△ 1,038	△ 3,308	

2-1. 収支の状況（西神・山手、北神線）

（税抜、単位：百万円）

	R4年度	R5年度	差額	主な要因
収入	17,879	18,931	1,052	
営業収入	16,688	17,214	526	
乗車料収入	14,978	15,288	310	新型コロナ影響を踏まえた収入見込み
営業外収入	1,191	1,717	526	特例債元金補助金の増
支出	19,087	21,048	1,961	
営業費用	18,224	19,999	1,775	
人件費	4,915	4,753	△ 162	
動力費	641	1,005	364	燃料調整単価の上昇
固定資産除却費	648	855	207	除却対象資産の増
減価償却費	7,854	8,704	850	新型車両購入・ホームドア設置による増
営業外費用	795	981	186	
予備費	68	68	0	
営業損益	△ 1,536	△ 2,785	△ 1,249	
経常損益	△ 1,140	△ 2,049	△ 909	
純損益	△ 1,208	△ 2,117	△ 909	
累積資金過不足額	66,704	69,903	3,199	

2-2. 収支の状況（海岸線）

（税抜、単位：百万円）

	R4年度	R5年度	差額	主な要因
収入	4,585	5,188	603	
営業収入	2,359	2,501	142	
乗車料収入	2,160	2,136	△ 24	新型コロナ影響を踏まえた収入見込み
営業外収入	2,226	2,687	461	特例債元金補助金の増
支出	7,575	8,464	889	
営業費用	6,280	7,295	1,015	
人件費	1,248	1,239	△ 9	
動力費	124	166	42	燃料調整単価の上昇
固定資産除却費	81	661	580	除却対象資産の増
減価償却費	3,436	3,591	155	海岸線車両装置更新による増
営業外費用	1,272	1,146	△ 126	
予備費	23	23	0	
営業損益	△ 3,921	△ 4,794	△ 873	
経常損益	△ 2,967	△ 3,253	△ 286	
純損益	△ 2,990	△ 3,276	△ 286	
累積資金過不足額	△ 64,434	△ 70,941	△ 6,507	

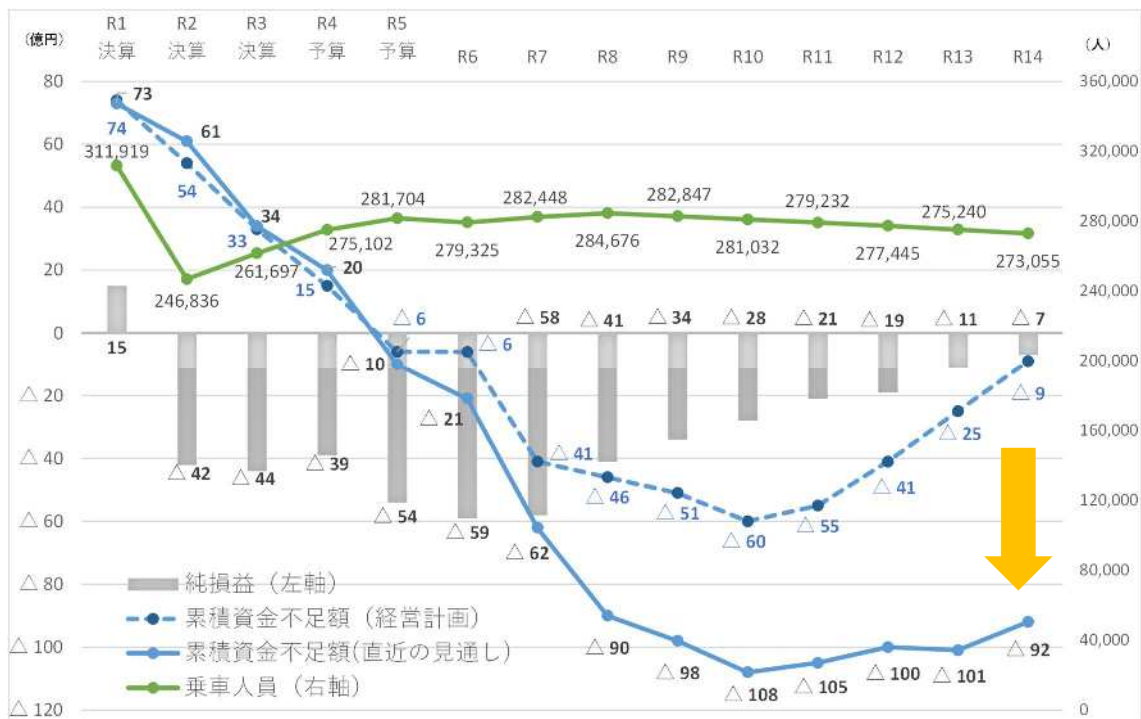
※海岸線ランニング収支：△542百万円（前年度比 57百万円の悪化、固定資産除却費を除く）

市バス・地下鉄の収支見通しについて

1. 自動車事業会計



2. 高速鉄道事業会計



【共有事項】

- ・新型コロナウイルス感染症による乗車人員の減少が想定以上であり、終息後も乗客数はコロナ前の水準には回復しないことを想定
- ・軽油代や電気代等の燃料費高騰や長期金利の上昇などを想定

令和5年度主要事業について

令和5年度主要事業

1. 安全・安心・信頼の確保

3,632,278千円

《安全運行の徹底／安全運行を支える基盤の構築》

(1) 再発防止に向けた研修・取り組み

「4.21 三宮重大事故」を過去のものとして風化させないため、毎年4月16日～5月15日を「市バス事故ゼロ・安全安心運転推進月間」に設定し、“4月21日を忘れない取り組み”を引き続き実施する。

令和4年度において、委託営業所も含めた全運転士に対して、当時の事故の状況をパネルや新聞記事等で展示した研修施設「安全の礎」での研修を実施した。引き続き、令和5年度においても、採用時や研修の機会等に積極的に活用することで、「二度と事故を起こさない」という意識を全ての職員に徹底する。

また、安全運行に関わる管理職等に加え、知見のある外部専門家で構成する安全対策会議において、事故分析や再発防止対策等について、多角的な視点での議論を行い、現場へフィードバックすることで、安全運行の徹底を図る。

上記、市バス運転士に対する取り組み（ソフト面）のほか、市バス車両に関する取り組み（ハード面）として、全車両へのバックカメラ設置を進めていくとともに、安全報告書に具体的に記載しホームページで公表することで、市民やお客様に対して「見える化」を図っていく。



▲「安全の礎（令和3年度設置）」

(2) 市バス営業所における組織風土改革

市バス営業所において発生したハラスメント事案を受け、第三者の弁護士による調査や、より独立性の高い第三者調査委員会である「神戸市交通局市バス営業所における職場環境及び組織風土改善のための調査委員会」による調査に基づいて、職場環境に悪影響をもたらす不適切な行為の実態把握を行うとともに、営業所管理体制の強化や風通しのよい職場づくり等の取り組みを進めている。

令和4年度中には全職員を対象としたハラスメント研修を実施するほか、令和5年度は、第三者調査委員会の調査結果報告書や職場改善にむけた提言を踏まえ、さらなる組織風土改革の取り組むことにより、日本一の市バス営業所の実現を目指し、引き続き風通しの良い職場づくりを進めていく。

(令和4年度実施)

- ・本庁自動車部に直営3営業所を統括する部門を設置
- ・長期在籍者を中心に計画的な人事異動の実施
- ・交通局全職員に対するハラスメント研修の実施



(令和5年度実施)

- ・バス事業現場経験のある職員の営業所長への登用
- ・本庁営業所統括部門の中央営業所への移転
- ・女性運転士の採用・配置
- ・現場職員のキャリアプランの策定・実施
- ・営業所における職場環境の改善、時間外勤務の削減 など

(3) ドライブレコーダーの更新に合わせた安全運行に対する評価の実施

現在、ドライブレコーダーの順次更新を行っており、令和5年度は75台の更新を行う。ドライブレコーダーに搭載されている運転評価機能(デジタルタコグラフ)を使用した各市バス運転士の詳細な運転操作の把握と管理職等による添乗調査によって、安全運行に対する評価を実施する。

(4) 新型車両の導入

西神・山手線、北神線の車両全編成の更新を行うにあたり、令和5年度は旧北神車両分として1編成を更新することで、全車両の6000形(新型車両)への更新が完了する。



(5) 西神・山手線、北神線へのホームドア設置

駅ホームからの転落や車両との接触事故を防止するため事故の防止に有効なホームドアを、西神・山手線、北神線全駅に令和5年度末までに設置が完了する。

- ・令和3年度設置完了駅(3駅)
新長田駅・西神中央駅・名谷駅
- ・令和4年度設置完了予定駅(10駅)
新神戸駅・湊川公園駅・学園都市駅・
板宿駅・西神南駅・長田駅・大倉山駅・
上沢駅・伊川谷駅・総合運動公園駅
- ・令和5年度設置完了予定駅(3駅)
県庁前駅・谷上駅・妙法寺駅



(6) 地下鉄駅施設のユニバーサル対応の推進

ユニバーサルデザインに配慮した駅施設になるように、令和5年度は湊川公園駅西口エレベーター設置工事を行うほか、妙法寺駅や上沢駅のエレベーターについて、バリアフリー基準に適合したエレベーターに更新を行う。



▲湊川公園駅

《快適なサービスの提供／「わかりやすさ・使いやすさ」の提供・追求》

(1) 定期券購入の利便性向上

①定期券 WEB 予約サービスの導入・普及

お客様がパソコンやスマートフォンから新規定期券購入の予約を行い、自動定期券発売機で決済・発券できる「定期券 WEB 予約サービス」を令和 5 年 3 月 8 日に導入する。このサービスにより、お客様の新規定期券購入の利便性向上を図るとともに定期券発売所の混雑緩和を図っていく。

また、より多くのお客様に同サービスを使ってもらうために、市バス・地下鉄車内広告やトレインビジョン、デジタルサイネージでの PR のほか、市内高校・大学への案内送付をはじめ、広報紙 KOBE、インターネット広告なども活用して周知を図る。



▲定期券 WEB 予約サービスでの購入フロー

②自動定期券発売機の新規設置・拡充

「定期券 WEB 予約サービス」をより多くの方にご利用いただくために、自動定期券発売機を令和 5 年 3 月までに地下鉄谷上駅に設置することで、地下鉄全駅に設置が完了する。また、市東部地域の利便性向上を図るため、令和 4 年 10 月に阪神御影駅前バスロータリーに新規設置した。

令和 5 年度は、自動定期券発売機を新規設置・拡充することで、更なるサービスの利便性向上を図る。

【設置予定駅】

- ・新規設置：2 台（設置候補－JR 六甲道駅・阪急六甲駅周辺）
- ・拡充：1 台（阪神御影駅周辺）

(2) インバウンドを見据えたクレジットカードタッチ決済の対応検討

神戸空港の国際化対応や大阪・関西万博の開催などによるインバウンド増加も見据え、地下鉄改札機でのクレジットカードや QR コードによる決済の導入に向けたシステム開発を行う。

なお、取組みにあたっては、外国人観光客が神戸の街を快適に周遊いただくために、令和 4 年 11 月に設置された「関西 MaaS 協議会」とも連携していく。

(3) 地下鉄ポイントサービスの導入

より便利なサービスとして、また IC 化率の向上を目的に、令和 6 年度中に IC カードを活用した地下鉄ポイントサービスを導入することを目指して、システム開発を行う。

導入にあたっては、地下鉄の乗車券や割引サービスの在り方を総合的に見直し、分かりやすく使いやすいサービスへと再編を図るとともに、他の民間交通事業者とのシームレスな連携を行っていく。

(検討の方向性)

- ・回数券、New U ラインカード⇒地下鉄ポイントサービスへの移行
- ・地下鉄磁気定期券⇒IC 定期券への移行
- ・共通ポイントの導入
- ・利便性の高い新たなサービスの導入

(4) 市バスポイントサービスの運用

令和 3 年 4 月から市バスにおける乗車ポイントサービスを開始しており、ご利用額に応じたポイントを市バス・山陽バスの乗車時にご利用いただける制度として引き続き運用するとともに、さらなる周知に努めていく。

(5) お客様サービス・接遇の向上

市バスでは、お客様から寄せられるサービス・接遇に関するご意見やご要望を分析し、市バス各営業所間で情報共有するとともに、対応を協議検討し、市バス全乗務員に周知する。また、乗務員研修等で、自動車運転士ハンドブックにもとづいた接遇教育を行う。さらに、管理職による添乗調査の結果に基づいた個別指導を強化するとともに、優良運転士には、表彰制度（グッドドライバー賞）や「サンキューカード」の交付によりモチベーションアップを図る。

地下鉄では、市バスと同様にお客様からのご意見等を逐次共有して改善に生かすとともに、外部講師による接遇研修、定期教育訓練における接遇研修を引き続き実施し、市バス・地下鉄とも一層のサービス・接遇の向上を図る。

(6) 地下鉄駅出入口への大型サイン（ロゴマーク）設置

地下鉄駅の地上出入口に、デザイン性にも配慮した共通デザインの大型サインを設置することで、駅の出入口をわかりやすくし、利便性の向上を図る。

令和 3 年度より整備を開始しており、令和 5 年度中の完成に向けて引き続き設置工事を進める。



▲大倉山駅

(7) バスの行先表示やバス停名の改善

観光のお客様や不案内なお客様にとっても分かりやすい案内表示とするために、知名度が高い施設や地名を使用した行先表示やバス停名への変更を進めていく。

【停留所名称の変更】

変更前	変更後	バス停が所在する路線名
中之島	県立兵庫津ミュージアム前	3 系統

(8) ホームページのリニューアル

お客様にとって、わかりやすく、アクセスしやすい案内の充実や情報発信を行うため、サイト構成を見直し、使い勝手・使い心地の良いホームページへリニューアルする。

「Urban Innovation KOBE」を活用した実証実験の結果を踏まえ、乗換案内や運行ダイヤなど、多くのお客様が求める情報に簡単に早くアクセスできるように改善することで、お客様満足度をさらに高め、市バス・地下鉄の利用促進を図る。

3. 「市民の足」の確保

1,099,139 千円

≪「市民の足」の確保・維持／もっと乗っていただける公営交通の実現≫

(1) 『実証実験 三宮・エリア 110』の継続

都心の回遊性向上及び市バス乗車機会の拡大を目的に、三宮都心部において、エリア内の市バスを IC カードでご乗車いただいた場合に、大人料金を半額の 110 円に割引する「実証実験 三宮・エリア 110」を令和 5 年度も継続実施する。

(目標利用人数：令和 6 年度までに年間 26 万人 (1 日あたり 700 人) のご利用)

より多くの方にご利用いただけるよう、ビジネス利用者や若者といったターゲットの利用シーンに応じた広報戦略を展開する。



▲「三宮 エリア・110 1日あたり利用者数の推移」
(7日間移動平均)

(2) 海岸線中学生以下無料化の本格実施

既設インフラの有効活用による地域活性化及び沿線地域への若年世代・子育て世帯の交流・流入・定住促進による乗客増を目的として、平成 29 年 7 月より実施している地下鉄海岸線中学生以下無料化社会実験について、令和 5 年度から本格実施に移行する。また、マイナンバーカードを活用し、自宅でも申込できる仕組みを構築し、さらなる利便性を向上する。

(3) お客様の意見の積極的な収集

市バスホームページのお問合せフォームにアクセスできる「QR コード」を主要停留所や車内に設置している「お客様の声ハガキ」に掲出し、積極的に意見や要望を募る。さらに、いただいた意見やご要望を活用し、サービスの充実を図る。

(4) 2タッチデータを活用した試験運行

令和4年7月に開設した中央区役所・中央文化センターへのアクセス向上に関する若菜・二宮地区の地域団体からの要望を受けて、「国香通5丁目」を通るルートでの試験運行を実施する。

なお、試験運行後、乗降データでのご利用状況を踏まえて以降の運行について検討を行う。

(5) バス路線の変更等

系統	運行区間	内容	備考
7	神戸駅前～市民福祉交流センター前	「三宮駅前（東行）」バス停の廃止	三宮再整備事業に伴う変更
18	JR 六甲道～三宮駅前（三宮駅ターミナル前）	復路終点バス停を「三宮駅前」から「地下鉄三宮駅前」に変更	
25	森林植物園前～三宮駅前（三宮駅ターミナル前）	復路終点バス停を「三宮駅前」から「センター街東口（南行）」に変更	
64	神戸北町～三宮駅前（三宮駅ターミナル前）	復路終点バス停を「三宮駅前」から「地下鉄三宮駅前」に変更	

(6) 摩耶山（まやビューライン）・六甲山（六甲ケーブル）等への輸送力強化

令和3年度から運行を開始した三宮駅ターミナル前から摩耶ケーブル下までの急行便、JR 六甲道から六甲ケーブル下までの急行便を引き続き運行する。

系統	運行区間	内容	備考
18 系統 急行便	三宮駅ターミナル前～地下鉄三宮駅前～新神戸駅前～摩耶ケーブル下	三宮から摩耶ケーブル下までの急行バスをまやビューラインの運行に合わせて運行し、摩耶山への観光客のアクセスの利便性向上を図る。 金土休：往路5本、復路3本（予定）	令和5年 4月28 日～5月 7日、7 月22日
106 系統 急行便	JR 六甲道～阪急六甲～六甲ケーブル下	JR 六甲道、阪急六甲から六甲ケーブル下への急行バスを運行し、六甲山への観光客のアクセスの利便性向上を図る。 平土休：往路11本、復路多客時運行（予定）	～11月 26日

(7) エコファミリー制度、エコショッピング制度の継続

マイカー利用から公営交通利用への転換促進と子育て支援を図るため、土・日・祝日、夏季期間、年末年始に大人が同伴する小学生以下の料金を2人まで無料にするエコファミリー制度を引き続き実施する。

また、市バスまたは地下鉄を利用して提携した店舗や施設での催し等に出かけていただいたお客様に割引などのサービスを提供するエコショッピング制度についても引き続き実施する。

《公営交通としてまちづくりに貢献／市バス・地下鉄の連携、シームレス化》

(1) 市内公共交通サービスのシームレス化の推進

市バス普通区 IC 定期券について、普通区内の神姫バスおよび PortLoop との共通利用を引き続き実施するとともに、市バスで実施している乗継割引制度の神姫バスへの導入に向けた協議・検討を進め、市内公共交通サービスのシームレス化を推進することで、市民サービスの向上を図る。

(2) 誰もが利用しやすいバス停の整備

高齢者や障がい者をはじめ、誰もが安心して移動できる環境を作るため、まちづくりの視点から、バス利用者だけでなく誰もがバス停施設を利用できるようにし、街路景観にも配慮しながら、一般会計からの支援を受けてベンチ・上屋を整備していく。



▲上屋整備イメージ

【令和5年度予定】

ベンチ：150ヶ所／年程度《R5年度～R7年度》

上屋：5ヶ所／年程度《R5年度～R7年度》

(特に良好な街路景観を求められるシンボルロードを中心に約15ヶ所を整備予定)

(3) 地下鉄駅構内の美装化・改善

① 駅舎特別清掃(壁面・床等のクリーニング)

駅は神戸のまちの玄関口であることから、駅を明るくきれいにすることで地下鉄沿線地域の価値を高め、魅力的な駅空間としていくために、開業以来対応できていない場所や汚れについて一般会計からの支援を受けて特別清掃を全駅で実施する。

② 駅トイレのイメージアップ改修

お客様の利便性・快適性向上のため、西神・山手線において、トイレの内装改修を実施する。また、海岸線を含めた全駅において、現在ある和式便器をすべて洋式便器に置き換えるとともに、温水洗浄便座を設置する。



▲イメージアップ改修後(新神戸)

③ 内照式広告のLED化

駅の内照式広告のLED化を行うことで、駅構内の照度アップによる明るい駅舎を実現するとともに、広告価値の向上や電気代の削減に取り組む。なお、空き広告枠には市政広告を掲載し、イメージアップを図っていく。

(4) 西神・山手線拠点駅（名谷・西神中央・新長田・三宮・板宿）のリノベーション

①名谷駅ビルのリニューアル及び拡充

「リノベーション・神戸」の一環として、名谷駅ビルのリニューアルにあわせ、駅北側の隣接するスペースに新たな駅ビル北館を整備し、テナント再編等による魅力的な便利施設（「tete 名谷」）の拡充に取り組む。

また、駅前のバスターミナルは駅や沿道の商業施設のご利用者等、多くの人が行き交うため、バス停上屋を拡張することで歩行者空間の高質化を図る。

- 令和5年度：「tete 名谷」北ゾーンオープン、
既存駅ビルリニューアル工事着工
バスロータリー上屋工事着工
- 令和6年度：既存駅ビルリニューアル完成
- 令和7年度：バスロータリー上屋完成



▲「tete 名谷」北ゾーン



▲駅ビルリニューアル

②西神中央駅リニューアル

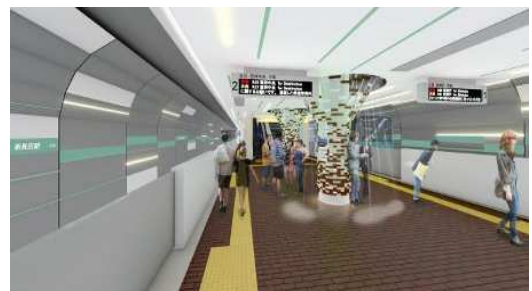
西区の中心かつ玄関口として、成熟した街・落ち着いた雰囲気醸成を図るため、令和7年3月の完成に向けて、駅構内のデザイン改修の設計を実施する。

③新長田駅リニューアル

西神・山手線のテーマカラーである「緑」を要所に配置したデザインで、従来の暗い駅空間のイメージを一新し、未来的で明るい駅空間に変えていく。令和6年3月の完成に向けて工事を進める。



▲コンコース階



▲ホーム階

④三宮駅東コンコースリニューアル

都心三宮再整備事業および「さんちか」のリニューアルに合わせて、西神・山手線三宮駅東コンコースのデザイン改修・トイレのリニューアル（スペース拡大・機能向上等）を令和5年度から令和6年度夏頃にかけて工事を行い、都心三宮の拠点駅としての魅力向上を図る。



▲コンコース（東側）

⑤板宿駅リニューアル

開業から45年を経て駅施設の老朽化が進んでおり、山陽電鉄との乗換え駅でもある板宿駅についてリニューアルを行う。現在、デザイン案を市民投票いただく準備を進めており、令和7年度末の完成を目指して進めていく。

(5) FCバス（燃料電池バス）の運行

水素スマートシティ神戸構想を掲げているなか、水素社会の推進に貢献するため、CO₂や環境負荷物質を排出しないクリーンなFCバス（燃料電池バス）を導入した。

令和5年4月より7系統（神戸駅前～市民福祉交流センター前）等での運行を予定している。併せて、イベントの実施や車内での動画放映等により、市民への周知を図る。



▲FCバス
(燃料電池バス)

(6) 西神車庫用地の利活用

北神線の市営化による現在の3車庫体制（名谷、西神、谷上）について、車庫運用の最適化等により名谷、谷上の2車庫体制とする。今後、廃止する西神車庫用地の一部を有効活用して、西神中央エリアの活性化を図り、リノベーション神戸を推進していく。

令和4年度においては、サウンディング調査等を開始し、令和5年度は、土地利用計画の策定を行うとともに、車庫縮小に伴う鉄道施設改修の設計を進める。

- ・令和7年度当初：西神車庫の廃止
- ・令和8年度以降：利活用の実施

(7) 伊川谷用地の利活用

伊川谷エリアの活性化に寄与するため、人口誘引施策として伊川谷駅南側の所管用地の活用方法を見直し、集合住宅等の誘致を検討する。

- ・令和5年度：都市計画変更、事業者公募、選定
- ・令和6年度以降：選定事業者による設計・工事着工

(8) 海岸線の集客増対策や地域活性化への貢献

沿線に人が集まり、地域が元気になるよう、地域の活性化や応援を図る取り組みを他部局や地域のキーマンと連携して実施し、乗客増につなげる。

また、兵庫津ミュージアムのグランドオープンやこども家庭センター・こべっこランドの移転・オープン、外来生物展示センターのオープンによる新たな人の動きに呼応して、ふさわしい駅の雰囲気づくりを進めていくとともに、企画乗車券の発売やイベントなど連携事業を実施し、海岸線の魅力向上とPRを図る。



▲和田岬駅構内装飾

(9) 北神地域活性化への貢献

谷上駅周辺の店舗や神戸電鉄との連携を一層深めていくことで、谷上駅の拠点化、北神地域の活性化に貢献していく。乗車券と地域の飲食店や施設で利用できる金券・優待券がセットになった「有馬グルメ&湯けむりチケット」「有馬温泉太閤の湯クーポン」等企画乗車券の発売のほか、ハイキング等イベントの実施により北神地域と神戸市街地との交流を促進する。



5. 安定的な経営基盤の確立

5,383,787 千円

《次世代を支える人材の確保・育成／安定的な経営を支える基盤の構築》

(1) 経営情報の発信

新型コロナウイルス感染症拡大によってご利用人数が大幅に減少しているなか、より市バス・地下鉄を利用いただくため、情報発信の充実に向けて検討を行い、令和4年度より交通局の経営状況や取り組みをわかりやすく伝える「交通局レポート」の発行を始めている。今後、市民・利用者のご意見等を踏まえ、市民目線で情報発信に関する工夫を行っていく。



▲交通局レポート

(2) ご利用状況の見える化

市バスのダイヤについては市民と共に考えていくことが重要であることから、客観的なご利用状況を広く市民と共有するために、市バス1便ごとの平均車内人数や停留所ごとの乗降人数がわかるデータサイトをホームページに公表し、引き続きご利用状況の周知を進めていく。

時間帯別
 便利
 期間選択: 2022年4月～6月 | 曜日選択: 1 平日 | 往復選択: 逆方向 | 時間選択: (すべて) | [系統選択に戻ります](#)
 営業係数: 53 | 98 | 主な停留所: 舞子駅前-本多間5-舞子高校前-学が丘-学園都市駅前 | ※このデータは停留所間の車内人数を出しております。 ※座ってご乗車できるお客様は最大27名(大型車の場合)

時間帯	始発時分	始発停留所	1 学園都市 駅前	2 小東山 6丁目	3 舞多間口	4 学が丘	5 学が丘 4丁目	6 多間東 小学校前	7 舞子 高校前	8 本多間 4丁目	9 本多間 5丁目	10 本多間 7丁目	11 大門橋	12 西岡橋	13 舞子坂 4丁目
7	705	学園都市駅前	15	15	14	14	16	14	15	16	20	26	29	31	31
	715	舞子高校前							4	7	11	18	21	24	26
	721	舞子高校前							7	9	11	19	23	23	24
	730	学園都市駅前	11	10	10	11	17	18	20	20	25	30	34	35	37
	736	学園都市駅前	17	16	14	15	18	12	16	15	20	23	28	28	28
	745	舞子高校前							3	8	12	19	22	24	26
	746	学園都市駅前	17	16	16	16	17	10	11	11	12	13	16	17	18
	750	学園都市駅前	23	22	22	23	24	13	13	12	13	16	18	19	20
	754	学園都市駅前	24	24	24	25	26	11	12	13	15	17	20	20	21
	757	舞子高校前							4	6	9	13	17	19	20
8	806	学園都市駅前	37	36	36	36	37	11	15	17	20	22	24	26	27
	818	学園都市駅前	31	32	31	32	34	11	11	13	15	17	20	22	21
	824	学園都市駅前	12	15	14	13	17	15	16	20	19	20	21	22	21
	850	学園都市駅前	9	8	5	6	7	9	10	13	15	20	22	24	24
	1015	学園都市駅前	5	5	5	5	8	10	11	13	14	16	17	20	20
	1030	学園都市駅前	11	12	11	14	16	18	20	22	23	24	25	25	26
10	1045	学園都市駅前	8	8	8	10	11	14	15	18	19	20	22	23	24
	1130	学園都市駅前	17	17	17	17	18	15	15	12	11	12	12	12	12
	1145	学園都市駅前	14	15	15	15	14	14	14	15	16	17	18	19	20
	1200	学園都市駅前	13	13	13	13	13	13	15	16	17	18	19	20	21
12	1215	学園都市駅前	19	19	19	19	19	22	22	24	25	25	25	26	26
	1230	学園都市駅前	18	19	18	19	19	17	16	14	14	14	14	13	13

▲データサイト

(3) 市バス IC カード 2 タッチ化による乗降データの活用とデータに基づく持続可能な路線バス網の構築に向けた取り組み

市バス IC カード 2 タッチ化によって得られた乗降データを活用して、令和 3 年度に策定した「データに基づく持続可能な路線バス網の構築に関する基本的な考え方」に基づき、新長田バスロータリーの整備に伴う新長田駅を中心としたバス路線の再編など、より多くの方にご利用いただけるような効率的・効果的なバス路線やダイヤとなるよう検討を進めていく。

(4) 女性運転士の採用

女性運転士を積極的に採用していくため、女性限定の募集や女性採用枠を創設する。また、より多くの女性にご応募いただくために市バス営業所内に女性専用の休憩室スペースを改修している取組みや短時間勤務制度、出産・育児の両立を応援する各種制度があることなどを採用ホームページや職場見学会、就職説明会等の場で積極的に広報していく。

(5) 将来の公共交通を担う人材の確保・育成

将来の公共交通事業の中核を担う職員の人材登用として、令和 4 年度より交通事業に専属で従事する一般行政職員の採用を開始しており、令和 5 年度も引き続き募集を行う。

また、市民の足として安定的な運行を継続していくため、安全意識やサービス向上を目的とした研修や、現場の管理監督業務に従事する職員を対象とした研修などに取り組む。



(6) 付帯事業収入の拡大

広告料収入の拡大や駅舎のイメージアップに向けて、乗客数の多い三宮駅において、駅施設のリニューアル工事にあわせてデジタルサイネージを設置する。令和 5 年度は 1 番線ホーム（新神戸・谷上方面）に柱サイネージの設置を行う。

また、コロナ禍で厳しい状況にある駅構内店舗について、新たな事業者の公募を実施し、駅の利便性を確保していく。

(7) 乗客増加対策の推進

民間事業者と連携した利便性向上策など、新たな乗客増加対策を検討・実施するとともに、引き続き、沿線地域の企業や店舗と連携したイベントの実施など乗客増加対策を実施・検討する。

- ・市街地中心部における移動利便性の向上策（三宮・エリア 110）の実施（再掲）
- ・地下鉄ポイントサービス導入による利便性の向上（再掲）
- ・摩耶山・六甲山等への輸送力強化のための急行バスの運行（再掲）
- ・海岸線及び北神線の乗客増対策の実施（再掲）

- ・拠点駅のリノベーションや保有用地の利活用（再掲）
- ・スマホアプリを活用した乗車券やイベントの実施
- ・スタンプラリーや謎解き等沿線地域への周遊性を持たせたイベントの開催
- ・アニメやゲーム等民間コンテンツとタイアップした SNS キャンペーン 等
- ・沿線スポーツチームと連携した企画の実施

(8) 市バス・地下鉄のダイヤ調整

市バスでは、IC カード2タッチ化による乗降データを活用して、運行状況に即した一部ダイヤ調整を行う。地下鉄では、令和5年8月に谷上車庫を休止させることに伴う列車の運用変更に合わせて、ラッシュ時間の混雑緩和や一部の列車の運行区間を変更する。

(9) 市バス営業所の管理委託の継続

市バス事業における経営改善策として営業所の管理委託を継続する。中央南営業所について、改めて提案競技を実施し、令和5年8月からの次期受託事業者を選定する。

(現在の委託状況)

委託営業所	受託事業者	期間
魚崎営業所	阪急バス(株)	令和4年度～令和8年度
松原営業所	阪急バス(株)	令和4年度～令和8年度
落合営業所	神姫バス(株)	令和4年度～令和8年度
西神営業所	神姫バス(株)	令和4年度～令和8年度
中央南営業所	神姫バス(株)	平成30年度～令和5年7月
清水が丘営業所	山陽バス(株)	令和2年度～令和6年度

参 考 资 料

令和5年度予算（案）の概要（自動車事業会計）

1. 予定業務量

区 分	4年度予算 (1)	5年度予算 (2)	増△減 (2)－(1)	伸び率 (%)	備 考	
営業キロ程(km)	375.5	375.3	△0.2	△0.1		
在籍車両数(両)	473	487	14	3.0		
運転車両数(両)	161,134	161,772	638	0.4		
運転走行キロ(千km)	16,370	16,407	37	0.2		
乗車人員(千人)	56,802	54,441	△2,361	△4.2	敬老・福祉乗車人員等を含む	
乗車料収入(千円)	9,269,376	8,911,523	△357,853	△3.9	敬老・福祉乗車負担金等を含む	
営業日数(日)	365	366	1	0.3		
一 日 平 均	運転車両数(両)	441	442	1	0.2	
	運転走行キロ(km)	44,850	44,828	△22	0.0	
	乗車人員(人)	155,622	148,747	△6,875	△4.4	
	乗車料収入(千円)	25,396	24,348	△1,048	△4.1	

2. 収支計画

(単位:千円、税込)

区 分		4年度予算	5年度予算	予算比較 (伸比率 %)	(比較増△減)
収 入 的 支 出	営 業 収 益	9,870,758	9,378,984	△ 491,774 (△ 5.0)	
	うち乗車料収入	9,573,442	9,085,523	△ 487,919 (△ 5.1)	
	定期・定期外	6,637,709	6,326,653	△ 311,056 (△ 4.7)	定期外 3,669,205 (△ 329,712) 定期 2,657,448 (△ 18,656)
	敬老パス 利用者負担	1,018,713	986,648	△ 32,065 (△ 3.1)	IC利用者負担 862,153 (△ 25,093) 定期利用者負担 124,495 (△ 6,972)
	他会計負担金	1,917,020	1,772,222	△ 144,798 (△ 7.6)	敬老バス負担金 775,343 (△ 215,843) 福祉バス等負担金 996,879 (△ 71,045)
	営 業 外 収 益	1,392,270	1,356,668	△ 35,602 (△ 2.6)	営業収益その他 293,461 (△ 3,855)
	うち一般会計補助金	1,310,672	1,273,016	△ 37,656 (△ 2.9)	基準内 198,068 (△ 11,848) 基準外 1,074,948 (△ 25,808)
	うち長期前受金戻入	10,000	12,401	2,401 (24.0)	長期前受金戻入 12,401 (2,401)
	特 別 利 益	-	-	0	営業外収益その他 67,051 (△ 1,547) 営業外収益他会計繰入金 4,200 (△ 1,200) 固定資産売却益 0 (0)
	計	11,263,028	10,735,652	△ 527,376 (△ 4.7)	
	営 業 費 用	11,763,884	11,387,560	△ 376,324 (△ 3.2)	
	人 件 費	3,738,925	3,112,657	△ 626,268 (△ 16.7)	給与(退職金以外) 3,089,680 (△ 370,983) 退職給付引当金繰入 22,977 (△ 255,285)
	経 費	7,591,589	7,750,954	159,365 (2.1)	燃料費 898,061 (△ 16,633) 修繕費 399,599 (△ 23,634) 営業所管理委託 5,232,224 (88,887) 嘱託人件費 106,966 (13,132) 保険料 83,939 (△ 2,642) その他 1,030,165 (52,987)
	減 価 償 却 費	433,370	523,949	90,579 (20.9)	
	営 業 外 費 用	245,271	190,628	△ 54,643 (△ 22.3)	支払利息及び諸費 85,103 (19,117) 消費税 105,525 (△ 73,760)
	出 特 別 損 失	-	-	-	
	予 備 費	100,000	100,000	0 (0.0)	
計	12,109,155	11,678,188	△ 430,967 (△ 3.6)		
営 業 損 益 (税 抜)	△ 1,963,768	△ 2,025,305	△ 61,537 (△ 3.1)		
経 常 損 益 (税 抜)	△ 811,755	△ 944,990	△ 133,235 (△ 16.4)		
純 損 益 (税 抜)	△ 902,665	△ 1,035,900	△ 133,235 (△ 14.8)		
累 積 損 益 (税 抜)	△ 4,101,520	△ 5,137,420	△ 1,035,900 (△ 25.3)		
資 本 的 収 支	収 入	907,110	1,590,551	683,441 (75.3)	企業債 1,058,000 (348,000) 補助金 191,483 (161,483) 他会計繰入、財産収入等 341,068 (173,958)
支 出	1,281,162	1,742,333	461,171 (36.0)	建設改良費 1,249,645 (509,336) 投資 1,128 (74) 企業債償還金 391,560 (51,761)	
収 支 差 引	△ 374,052	△ 151,782	222,270 (59.4)	予備費 100,000 (△ 100,000)	
累 積 資 金 過 不 足 額	△ 1,717,696	△ 1,718,416	△ 720 (△ 0.0)		
資 金 不 足 比 率 (%)	△ 18.8	△ 19.7	△ 0.9 (△ 4.8)		

3. 令和5年度神戸市自動車事業会計予定貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	18,161,167	固 定 負 債	12,772,583
運送施設有形固定資産	35,207,684	企 業 債	10,432,384
減価償却累計額	△ 17,184,958	引当金(退職給付引当金)	2,267,768
計	18,022,726	そ の 他 固 定 負 債	72,431
関連施設有形固定資産	211,209	流 動 負 債	7,935,854
減価償却累計額	△ 111,517	一 時 借 入 金	4,500,000
計	99,692	企 業 債	622,060
運送施設無形固定資産	10,669	未 払 金	1,811,233
関連施設無形固定資産	3,025	前 受 金	733,681
投 資	25,055	預 り 金	17,289
流 動 資 産	5,595,378	引当金(賞与等引当金)	226,040
現 金 預 金	3,368,084	そ の 他 流 動 負 債	25,551
未 収 金	2,205,938	繰 延 収 益	438,985
貯 蔵 品	21,356	長 期 前 受 金	2,612,895
		収 益 化 累 計 額	△ 2,173,910
		資 本 金	4,895,029
		剰 余 金	△ 2,285,906
		資 本 剰 余 金	2,851,514
		利 益 剰 余 金	△ 5,137,420
		未処分利益剰余金	△ 5,137,420
合 計	23,756,545	合 計	23,756,545

令和5年度予算（案）の概要（高速鉄道事業会計）

1. 予定業務量

区 分	令和4年度予算 (1)	令和5年度予算 (2)	増△減 (2) - (1)	伸び率 (%)	備 考	
営業キロ程(km)	38.1	38.1	-	-		
在籍車両数(両)	238	250	12	5.0		
運転走行キロ(千km)	22,357	22,379	22	0.1		
乗車人員(千人)	100,412	103,104	2,692	2.7	敬老・福祉乗車 人員等を含む	
乗車料収入(千円)	18,695,646	19,007,425	311,779	1.7	敬老・福祉乗車 負担金等を含む	
営業日数(日)	365	366	1	0.3		
一 日 平 均	運転走行キロ(km)	61,251	61,145	△106	△0.2	
	乗車人員(人)	275,102	281,704	6,602	2.4	
	西神・山手線、北神線	229,666	235,782	6,116	2.7	
	海 岸 線	45,436	45,922	486	1.1	
	乗車料収入(千円)	51,221	51,933	712	1.4	
	西神・山手線、北神線	44,774	45,562	788	1.8	
	海 岸 線	6,447	6,371	△76	△1.2	

2. 収支計画（全線）

（単位：千円、税込）

区分		4年度予算	5年度予算	予算比較 (伸び率 %)	内 訳	(比較増△減)	
収益的 収支	収入	営業収益	20,776,434	21,466,523	690,089 (3.3)		
		運輸収入	17,130,862	17,406,340	275,478 (1.6)		
		定期・定期外	16,369,365	16,599,521	230,156 (1.4)	定期外 定期	8,458,986 (△ 7,226) 8,140,535 (△ 237,382)
		敬老パス 利用者負担	761,497	806,819	45,322 (6.0)	IC利用者負担 定期利用者負担	745,345 (△ 47,290) 61,474 (△ 62,924)
		他会計負担金	1,564,784	2,101,085	536,301 (34.3)		
		その他	2,080,788	1,959,098	△ 121,690 (△5.8)	広告料等運輸雑収入 付帯事業収入	1,156,653 (△ 116,331) 802,445 (△ 5,359)
	営業外収益	3,417,727	4,405,120	987,393 (28.9)			
	一般会計補助金	1,470,781	2,329,672	858,891 (58.4)	特例債元金補助金 企業債特別分利子補助金 その他	1,547,981 (△ 915,500) 272,028 (△ 56,352) 509,663 (△ 257)	
	長期前受金戻入	1,936,015	2,041,435	105,420 (5.4)	西神・山手線、北神線 海岸線	592,102 (△ 127,103) 1,449,333 (△ 21,683)	
	その他	10,931	34,013	23,082 (211.2)	基金繰入金 受取利息 その他	4,000 (△ 2,000) 0 (△ 57) 30,013 (△ 21,139)	
	計	24,194,161	25,871,643	1,677,482 (6.9)			
	支出	営業費用	25,097,641	28,025,687	2,928,046 (11.7)		
		人件費	6,170,844	6,000,317	△ 170,527 (△2.8)	給与(退職給付引当金以外) 退職給付引当金繰入	5,791,283 (△ 19,007) 209,034 (△ 151,520)
		経費	7,636,727	9,730,303	2,093,576 (27.4)	動力費 電気代 修繕費 その他	1,287,748 (△ 445,900) 1,091,769 (△ 321,282) 1,770,561 (△ 21,775) 5,580,225 (△ 1,348,169)
		減価償却費	11,290,070	12,295,067	1,004,997 (8.9)		
		営業外費用	2,032,688	2,058,219	25,531 (1.3)		
		支払利息及び諸費	2,030,688	2,054,219	23,531 (1.2)	企業債利子 企業債諸費	2,012,745 (△ 55,291) 41,474 (△ 31,760)
	その他	2,000	4,000	2,000 (100.0)	他会計繰出金	4,000 (△ 2,000)	
	予備費	100,000	100,000	-			
計 (ア)	27,230,329	30,183,906	2,953,577 (10.8)				
営業損益 (税抜)	△ 5,457,401	△ 7,578,587	△ 2,121,186 (38.9)				
経常損益 (税抜)	△ 4,106,679	△ 5,301,073	△ 1,194,394 (29.1)				
純損益 (税抜)	△ 4,197,588	△ 5,391,982	△ 1,194,394 (28.5)				
累積損益 (税抜)	△ 85,965,001	△ 91,356,983	△ 5,391,982 (6.3)	企業債 特例債 資本費平準化債	14,503,000 (△ 2,405,000) 515,000 (△ 176,000) 0 (0)		
資本 的 収支	収入	25,542,472	23,298,162	△ 2,244,310 (△8.8)	出資金 補助金 その他	3,713,000 (△ 637,000) 4,048,783 (△ 457,713) 518,379 (△ 163,977)	
	支出 (イ)	34,800,089	33,689,979	△ 1,110,110 (△3.2)	建設改良費 企業債元金償還金 他会計繰出金	19,546,079 (△ 2,582,912) 12,971,581 (△ 1,022,065) 513,940 (△ 176,760)	
	収支差引	△ 9,257,617	△ 10,391,817	△ 1,134,200 (12.3)			
単年度資金余剰	△ 1,553,701	△ 3,307,212	△ 1,753,511 (112.9)				
累積資金過不足	2,269,532	△ 1,037,680	△ 3,307,212 (△145.7)				

収支計画（線別）

（単位：百万円、税込）

区 分		西 神 ・ 山 手 線 、 北 神 線			海 岸 線			
		4年度予算	5年度予算	比 較	4年度予算	5年度予算	比 較	
收 益 的 収 支	收 入	営 業 収 益	18,205	18,755	550	2,571	2,712	141
		うち乗車料収入	16,343	16,676	333	2,352	2,332	△ 20
		定期・定期外	14,329	14,536	207	2,040	2,064	24
		敬老バス利用者負担	685	723	38	76	84	8
		他会計負担金	1,329	1,417	88	236	184	△ 52
	営 業 外 収 益	うち一般会計補助金	718	1,098	380	753	1,232	479
		うち長期前受金戻入	465	592	127	1,471	1,449	△ 22
		計	19,397	20,473	1,076	4,797	5,399	602
	支 出	営 業 費 用	18,673	20,555	1,882	6,425	7,470	1,045
		人 件 費	4,922	4,759	△ 163	1,249	1,241	△ 8
		経 費	5,897	7,092	1,195	1,740	2,638	898
		減 価 償 却 費	7,854	8,704	850	3,436	3,591	155
		営 業 外 費 用	766	918	152	1,267	1,140	△ 127
		うち支払利息及び諸費	764	914	150	1,267	1,140	△ 127
予 備 費		75	75	-	25	25	-	
計	19,514	21,548	2,034	7,717	8,635	918		
営 業 損 益 （ 税 抜 ）		△ 1,536	△ 2,785	△ 1,249	△ 3,921	△ 4,794	△ 873	
経 常 損 益 （ 税 抜 ）		△ 1,140	△ 2,049	△ 909	△ 2,967	△ 3,252	△ 285	
純 損 益 （ 税 抜 ）		△ 1,209	△ 2,117	△ 908	△ 2,989	△ 3,275	△ 286	
累 積 損 益 （ 税 抜 ）		27,152	25,035	△ 2,117	△ 113,117	△ 116,392	△ 3,275	
資 本 的 収 支	収 入	19,456	17,773	△ 1,683	6,086	5,525	△ 561	
	うち企業債	14,508	12,784	△ 1,724	2,739	2,234	△ 505	
	うち出資金	3,725	3,215	△ 510	625	498	△ 127	
	うち補助金	869	1,256	387	2,722	2,793	71	
	支 出	22,720	21,439	△ 1,281	12,080	12,251	171	
	うち建設改良費	19,001	17,044	△ 1,957	3,128	2,502	△ 626	
	うち企業債償還金	3,027	3,223	196	8,923	9,749	826	
収 支 差 引	△ 3,264	△ 3,666	△ 402	△ 5,994	△ 6,726	△ 732		
累 積 資 金 過 不 足 額		66,704	69,903	3,199	△ 64,435	△ 70,941	△ 6,506	

3. 令和5年度神戸市高速鉄道事業会計予定貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	274,682,995	固 定 負 債	174,570,035
運送施設有形固定資産	563,460,786	企 業 債	166,243,653
減価償却累計額	△ 299,005,016	引当金(退職給付引当金)	5,695,424
計	264,455,770	そ の 他 固 定 負 債	2,630,958
付帯事業有形固定資産	16,503,990	流 動 負 債	24,140,643
減価償却累計額	△ 11,593,281	一 時 借 入 金	—
計	4,910,709	企 業 債	11,715,348
運送施設無形固定資産	685,302	未 払 金	8,855,488
投 資	4,631,214	前 受 金	1,588,849
流 動 資 産	11,387,615	預 り 金	1,440,469
現 金 預 金	389,909	引当金(賞与等引当金)	431,187
未 収 金	7,792,507	そ の 他 流 動 負 債	109,302
貯 蔵 品	204,824	繰 延 収 益	55,788,820
前 払 費 用	169	長 期 前 受 金	136,372,360
そ の 他 流 動 資 産	3,000,206	収 益 化 累 計 額	△ 80,583,540
		資 本 金	107,856,900
		剰 余 金	△ 76,285,788
		資 本 剰 余 金	14,964,685
		利 益 剰 余 金	△ 91,250,473
		未 処 分 利 益 剰 余 金	△ 91,250,473
合 計	286,070,610	合 計	286,070,610